



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Keiko kashihara 4-16-23-402 Motoyamanakamati Higashinada Kobe
 HYOGO 658-0016, JAPAN Mail : kashihara-k28@kxb.biglobe.ne.jp Tel: 078-431-3511
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

主 題	
国際協会会長 V.S. Bashir	「希望の灯(ともしび)となろう」 "Be the Light of Hope"
アジア地域会長 Rita Hettiarachchi	「希望の灯(ともしび)となろう」 "Be the Light of Hope"
西日本区理事 佐藤典子	「思いやりを持ってワイズライフを！」 "Enjoy Y' life with consideration!"
六甲部部长 山口政紀	「悠々として急げ」ワイズライフ "Festina Lente!"
芦屋クラブ会長 柏原佳子	「凜として・・・」 "Onward Valiantly"

会 長	柏原佳子
直前会長	柏原佳子
副会長	島田 恒 飯田義雄
書 記	堀江哲次 井上雅司 福原吉孝
会 計	羽太英樹 堤 清
監 事	都筑省三 町永昭五
連絡主事	小川勝之
六甲部ファンド事業主査	吉岡浩一

2

Feb. 2009
第 141号

今月の聖句

互いに重荷を担いなさい。 そのようにしてこそ、キリストの律法を全うすることになるのです。

ガラテヤの信徒への手紙 6:2

TOF、CS、FF に目を向けよう



地域奉仕・環境担当 上野恭男
 CS 献金(お年玉年賀はがき当選切手)の目標 1,500 円/1 人、TOF 献金の目標 \$16 (1,760 円)/1 人、FF 献金の目標 800 円/1 ファミリーが目標値です。横文字で何かよくわからないけど、いいことのようにだから献金しようでは

なく、正しい目的を理解して献金したいものです。芦屋クラブが取り組み始めた CS 事業、「みどり福祉作業所」への「みどり基金」は、CS 資金申請で大きな夢をつかみました。お仲間でもある大澤メンもこの度 CS 資金をいただき、知的障害者への取り組みに力が入ると話します。杉浦事業主任は、クラブが独自に地域奉仕事業を持つことは、クラブの活動に巾と深み加わり、メンバーが同じ目標に向かって歩むことによって、クラブの活性化にもつながるはずとしています。芦屋クラブの地域への取り組みは正しかったと確信させます。また、国連からのよびかけに答えて、10 月 24 日(国連デー)より「ロールバックマリア」(マリア撃退計画)を展開、これまでの「HIV/AIDSの拡大を防ごう！」への取り組みと共に大事です。「マリア感染予防パッケージ」1 セット 900 円を贈ってアフリカの子供を援けたい。さあ、これからの 1 年さらに将来にわたり大きな目標を掲げて進んでいきましょう。

2月第1例会(TOF)プログラム

と き: 2009年2月18日(水) 19:00~21:00
 と ころ: ホテル竹園芦屋 9階
 司 会: 井上雅司 (敬称略)
 受 付: 羽太英樹・堤清・堀江哲次
 (受付にて、TOF・FF・CSを集めます)

1. 開会点鐘	柏原佳子会長
2. クラブソング斉唱	一同
3. 聖書朗読	羽太英樹
4. タイワークキャンプゲスト挨拶	
5. 食前感謝	上野恭男
6. 食事・歓談	一同
7. ニコニコ (いい事一言)	ドライバー
8. YMCAニュース	小川勝之連絡主事
9. 誕生祝い (堤和子)	柏原佳子会長
10. 次期役員・クラブ委員選出	飯田義男副会長
11. 議事・報告	
1) 第2例会議事録承認	柏原佳子会長
2) 各事業委員報告	
3) ロールバック・マリア献金	柏原佳子会長
4) IBC・DBC報告	吉岡交流委員
12. ニコニコ献金報告	福原吉孝 (ファンド)
13. 閉会点鐘	柏原佳子会長

1月出席表	在籍会員数	20名	第1例会総出席数	25名
	第1例会出席会員	15名	メネット	名
	メイクアップ	3名	コメット・マゴメット	名
	出席率	90%	ビジター・ゲスト	10名
	ニコニコ	19,340円	累計	131,014円
	BF切手	吉岡・井上(雅)		436 gm

1月第1例会報告

日時：2009年1月21日(水)19:00～21:00
場所：ホテル竹園芦屋
司会：都筑省三（敬称略）
出席者：飯田、田舎、井上(雅)、上野、小川、柏原、桑野
島田、都筑、堤、羽太、福原、堀江、吉岡、渡辺
ゲストスピーカー：森田恵三(京都ウエスト)、
ビジター：鈴木誠也・大野勉(神戸ポート)、
岩田健司・小野勅紘・廣瀬一雄(西宮)、
遠藤通寛(大阪泉北)、藤井久子(学園都市)
森愛子・井上睦美(神戸)、渡辺拓也(ゲスト)

新しい年の初めての第1例会は多くのゲストやビジターのご出席を頂き、賑やかにスタートすることが出来ました。

今回はゲストスピーカーの森田恵三ワイズより「ワイズ人生とその魅力」という題でお話をお聞きました。

森田ワイズは1971年にワイズメンズクラブに入会され、今年で38年になるということでした。その間、京都パレス及び京都ウエストのチャーターメンバーとして、また日本区理事、国際議員、2010年の横浜国際大会の準備委員等々、大変なキャリアの方ですがその長いご経験からのいろいろの体験談をお話されました。また森田ワイズは「ワイズ温泉どっぷり論」で全国のワイズメンにお馴染みの方ですがそのことについて次のようなことを言われています。

(私は時折「ワイズ温泉にどっぷり漬かることで時間的・経済的な消費は大変なものでしょう」という言葉を聞くのですが、私は「それは消費ではなく自らへの投資であって、はね返り戻る恩恵には計り知れないものがあり、奉仕されているのは自分の方であると感謝せずにはいられません。今後とも、きっとワイズ温泉にどっぷりと漬かっていることでしょう」と答えています。……) 私はお話を聞きながら、長い年月、情熱を持って活動を続けてこられた森田ワイズのような人々によってワイズの活動が継続してきたことを思いました。例会終了後、ホテル9階のラウンジでゲスト、ビジターの有志の方々と歓談のひと時を過ごし、10時過ぎ散会となりました。 都筑省三

神戸西クラブ訪問

1月20日、クリスマス例会に失礼した神戸西クラブの1月例会(神戸YMCAサイコー亭)に参加することができました。ゲストスピーチの西澤氏はスポーツアナとしての50年の歴史のよもやま話をされ、現在も現役でフリーアナウンサーとして活躍されています。その、バイタリティと巧みな話術と内容にもっと多くの人たちが集まらねばもったいないと感じました。他クラブ訪問はワイズの楽しみのひとつです。積極手に出かけましょう!

柏原佳子

2009年新春YYフォーラム

2009年1月17日(土)例年通り、掲題例会が神戸YMCAにて開催された。

開会は13:00で、今回の参加者数は六甲部ワイズメンズ、神戸YMCAリーダー併せて約120名有余の参加。神戸YMCA総主事の水野さんによると、元々は、YMCA、ワイズ夫々が、新春懇談会と言うことでこの様な会が毎年開催されていたが、7年前、これを合同で開催することとなり、「新春YYフォーラム」となった由。例年と同様、ワイズ、YMCAの会として、新春早々の華やか会のスタートとなった。芦屋ワイズメンズクラブからは柏原会長、飯田次期会長、上野、桑野、堀江、羽太、田舎メンの7名であり、他のクラブと比較しても相変わらずの数と元気の良さであったと思う。中道基夫牧師(神戸キリスト教青年会副会長)の若さに満ち溢れた指導の元に、開会礼拝が始まり、オルガン演奏に伴奏され、荘重なる式典が流れるが如く、進められたが、その基調は平和の追求であり、今この時パレスチナ紛争で、失われている生命に対する痛恨の祈りのような感じにとらわれたのは筆者だけではないと思われる。この荘厳さは心が洗われるムードと感じられたものではあったが、若干、演出過剰の気も感じられたのは私の年寄りのひねくれのせいかもしれない次第である。

引き続き、プログラムの「DEBATE」タイムとなり、テーマとして「生きる喜びは お金? それとも愛?」がテーマとして、ワイズメンとYMACリーダーの老若2グループに分かれて、DEBATEがなされた。若干お遊び的テーマであり、ディスカッションとは異なり、いかに自己主張をもって相手を論破することを目的とした米国的プログラムであったこともあり、いささか場違い的議論に終止した感があると共に、この「愛」と「金」



ワイズメンは愛? リーダーはお金!!

という議題そのものが、議論対象としてふさわしいものと思われなかった。今回の会合の主催者が色々苦勞されたことは思い計れるものはあるとしても、次の「グループディスカッション」にも影響するものでもあり、今後一考すべきものと思われる。次のグループディスカッションに移り、若きYMCAリーダーのリードもとに議論がなされたが、その結論は、それはそれなりの結論が出されていたが、その結論は別として、毎年思うことであるが、これら若きリーダー達と議論を交わして、日本の若者達がいかに立派に育っているかに目を見張り、日本も捨てたものではないと感じる次第である。それに比較して、毎日のテレビで見る国会答弁に於ける当代の総理大臣の見窄らしさはいかなるものかと思う次第である。このような感想を抱けることだけでも、この毎年の「YYフォーラム」に出席の価値あるものと思ひ、我々が芦屋ワイズメンのメンバーも、時間あれば是非ともご参加頂ければと思います。毎度例会をさぼっている筆者がこの様なことを言うことはおこがましいと思ひながらも言う次第です。若さとは本当に良いものです、その若さから元気を貰えるということもワイズメンズクラブの良さではないでしょうか。 田舎庸男

第4回神戸YMCA語学留学生との交流会

日時：2009年2月4日(水) 18:00~20:00

場所：ブルーミンメドー

参加者：神戸YMCA日本語学科ディレクター櫻井英治氏、
関博さん(スタッフ)、小川勝之連絡主事
中国からの留学生6名、台湾からの留学生1名、
韓国の留学生6名

芦屋C：田舎、井上(雅)、井上(恵)、上野、柏原、桑野、
加輪上、島田、都筑、堤、羽太、福原、堀江、
吉岡、渡辺(15メン) 飯田、田舎、(2メネット)

ピジター：井上睦美(神戸クラブ)

II

井上雅司

神戸南京町の春節祭は1月26日から2月1日まで行われ、多くの人で賑わいをみせてました。

春節祭は中国の旧正月の祭りで、韓国では「ソルラル」と呼ばれ、家族揃って盛大なお祝いが行われるそうです。神戸YMCA語学留学生との交流会は旧正月に大学の入学試験などで母国へ帰省しない留学生を励ます目的で企画された芦屋クラブ独自の催しです。4年目を迎えた本年は中国、台湾、韓国の留学生13名が参加し、総勢34名が「ブルーミンメドー」に集いました。「ブルーミンメドー」のオーナーは芦屋クラブ渡辺ウイメンのご主人、緑と季節の花に囲まれたカナディアンログハウスのレストランで、1日一組のウエディングも数多く開かれる都会の喧騒から離れた癒しのスポットです。会は柏原会長の留学生の緊張感を和らげようとの配慮から「中国語」、「韓国語」、「ネパール語」による「こんにち」の冒頭挨拶と歓迎スピーチで開会、井上恵子ウイメンのピアノ伴奏でワイズの歌を全員で合唱。充分な発声練習(?)の後、留学生の自己紹介が行われました。卒業を間近に控えた学生、入学して日の浅い学生が名前、母国、出身地をはっきりとした日本語で紹介があり、羽太メンの食前感謝そして加輪上メンの乾杯は、流暢な中国語(北京語)の挨拶で始まり留学生の日本滞在中に日本を理解し、日本と母国を結ぶ架け橋としての役割を期待するとのスピーチがありました。お待たせしました！食事・歓談・交流タイムです。ワイズのウイメン、メネットの皆さんの心を込めて準備した料理、メンの皆さんが購入したこだわりの一品がbuffetスタイルのテーブルに所狭しと並べられ、約1時間、料理で盛りだいたお皿とドリンクを持った留学生と同じスタイルのワイズの皆さんと日本語での交流、時には英語での会話で交流が行われておりました。食事・歓談の後のゲームで更に交流を深め、最後に全員が一つの輪になり井上恵子ウイメンの伴奏でYMCAの歌を合唱。閉会にあたり島田メンよりYMCA活動の意義と参加、ワイズの理解と仲間(同志)意識についてスピーチがあり、芦屋クラブの地域奉仕活動のひとつ「芦屋さくら祭り」での再会と参加が呼びかけられました。これはワイズによる交流会の今後の大きな活動目的になると思います。最後に記念写真。皆さん良い顔に写ってます。

I

羽太英樹

2月4日、暦では「立春」である。比較的穏やかな冬の日、芦屋クラブ恒例のYMCA語学留学生との交流会が盛会のうちに行なわれた。旧暦の正月、この時期さびしい思いをしているだろうアジアの留学生を招こうと始まったこの会も第4回を迎えた。



お料理を用意して下さったメネットさんと柏原会長、黒一点は書道家の野尻氏

今回も渡辺ご夫妻の経営されるムードのあるログハウス「ブルーミンメドー」を開放していただき、楽しい2時間はアツという間に過ぎ去った。柏原会長の挨拶、ワイズソング斉唱、留学生の自己紹介、食前感謝祈禱、乾杯と進んでゆき、我々が持参した

ご馳走に青年たちと歓談をしながら舌鼓を打った。美味しかった。ありがとう。留学生のほとんどが数ヶ月から半年前に神戸にやって来たばかりという青年たちだ。先ず日本語をものにして関西地区の大学を目指しているという。まだたどたどしい日本語だか、将来を夢見る彼らの目は輝いていた。豊かな家庭の子弟とも思われるが、世界的な景気後退で日本での生活は大変だろうとも察する。がんばれとエールを送りたい。

食事と歓談が一段落したところで、櫻井先生の指導によりみんなで「デート・ゲーム」をした。お互いの名前と顔を覚える楽しいゲームだ。やっと親しくなれたと思われた頃にはもうお開きの時間になってしまった。最後に島田副会長による留学生たちへの励ましの挨拶があって、一同記念写真を撮り、「また会う日まで」の賛美歌で青年たちを送り出した。尚、この会のために周到な準備と司会を務められた井上雅司 Y サ委員、場所を提供していただいた渡辺夫妻、垂れ幕を書いてくださった書道家の野尻氏に感謝する。



トピックス

- ◇大澤メンが1月31日に退院されました。「CS支援金とみどり基金への感謝を込めて、新規購入のミニカー(軽乗用車)の後部に『芦屋ワイズメンズクラブ贈呈』と表示したい」との事。嬉しいニュースですね。(柏原会長)
- ◇広義会員町永メンが1月15~17日芦屋に来られました。急でしたが、柏原会長・飯田・上野・桑野各メンが一緒にホテル竹園で会食、ご都合でYYフォーラムには参加いただけませんでした。町永メンからCS切手15枚と各ファンド・留学生交換会へ参加支援金を受け取りました。ありがとうございます。(柏原会長)
- ◇鎌倉・もりおかに続いて3つ目のDBC決定！ 予てよりアプローチしていた熊本みなみクラブの杉野会長よりDBC受諾の手紙が届きました。6月の西日本区大会での締結式にむけて、お互いのクラブ訪問を計画しましょう。(吉岡交流委員)

IBC 急展開

昨年8月2日デンマークICで30分のコーヒタイムでの会話から始まったIBC、関係部署への申請はエチューカが1か月もしない8月末にはIBCの申請書を関係部署に出されて我々の方が、え！そんなに早く？と、びっくりしたそのクラブが、その後当方からの数回のメールに何の反応も無くやきもきしていました。関係の皆様にもご心配をお掛けしたと存じます。そのコーヒタイムのスコット夫妻からの驚きのメールです。

ハ～イ、芦屋の皆さん

クラブ書記のイアンと私がそれぞれ書き送ったメッセージが何処かへ紛れて届いていないと聞いて残念です。昨年末にそのメールでお答えしたとおり皆さんの支度が出来次第何時来て頂いても喜んでお迎えできます。私達の次の会合は2月4日水曜日、これが夏休み後の今年最初の会合となります。その日他クラブからの訪問受け入れを含めて年間計画を策定します。クラブ会員の何人かは退職しており前以っての予告も、大した面倒もなくゲストを家にお泊め出来る人がいます。私はあわや命を落としそうなトラック事故に巻き込まれて未だ仕事に戻っていません。この5か月で奇跡的回復を遂げ、もう少しリハビリをすれば来月から仕事に戻れる所まで来ました。(そうなれば)ワIFのアンと私で喜んで皆さんをご案内しますよ。

このところ4日連続で気温44度Cという最も暑い月にあたりもう暫らくこの調子が続きそうです。この暑さでは皆さんはおいやでしょうね？何かもっとお知りになりたい事があればどうぞ何なりと遠慮なくお申し越してください。私達はあの事故から漸く元の生活に戻り始めているところです。

そして皆さんからのお便りを心からお待ちしています。

Y'sly

アン&ノエル スコット

(エチューカ会員:オーストラリア南部地区部長) (吉岡訳)

という訳でこれからメール通信により、IBC調印に向けてお互い
吉岡浩一

1月第2例会報告

日時: 2009年1月28日(水)18:15~21:00

場所: 芦屋市民センター 204号室

出席者: 飯田、井上(雅)、上野、柏原、桑野、羽太、堤、堀江、吉岡&小川連絡主事(10名)

報告・協議・確認事項 (一部敬称略)

◇吉岡ファンド主査よりワイズの各ファンドの説明。

柏原会長がオナーロール(US\$1,000)、上野メン(JWFに10,000円)、吉岡メン(PWAFに\$100)夫々献金

◇会計報告: 羽太会計より基本会計・クリスマス例会の会計報告、堤会計よりファンド会計の報告

ニコニコ 3,071円 全額をYMCAに贈呈しました

オークション 41,000円 ファンド会計へ

物品販売 12,100円 ファンド会計へ

☆ これは女性会作成(今回は飯田メネット、井上メネット、島田メネット及び柏原会長)の絵ハガキとテーブル花の売り上げで、お花の材料は渡辺ウイメンよりニコニコへ寄付、また絵ハガキの材料は島田メネットより無料で提供されました

◇2月4日(水)の留学生交流会のプログラム、役割分担、ポトラック内容、準備品、出席者(留学生14名+引率者2名(櫻井先生、関スタッフ)+ワイズ18名)等井上メン作成の資料に従い討議・決定

◇学園都市クラブ 15周年記念例会

参加者: 上野・柏原・桑野・都筑・吉岡各メン

◇さんだクラブ バレンタイン・コンサート

参加者: 堤、飯田メンご友人3名、堀江メン・メネット

◇記念例会・西日本区大会への出席者に対してクラブより補助金を出す件につき、補助金額についてはクラブ規約に規定する。(別途、検討委員会を設け討議)

◇ガザYMCAへの募金については、神戸YMCAからの要請があった時点で再検討する

◇YMCA スピーチコンテストが3月4日に開催、2月例会で小川連絡主事が紹介し参加者を募る

◇タイ・ワークキャンプが3月13日~26日まであり、YMCAより14名参加する。2月例会にタイ・ワークキャンプ参加者の代表が出席する予定

◇今年のさくら祭りは4月4・5日の予定。記録=堀江哲次

YMCAニュース

今後の予定

小川勝之

◇平和のための子ども巡回絵画展

天津・セントルイス・チェンマイ・神戸・釜山と各都市を巡回するこの絵画展も今年で第6回となりました。平和について各国の子どもたちが描いた絵が一同に展示され、各国の文化の違いを超えた平和へのメッセージを感じることができます。是非、お出かけください。また、オープニングイベントには各国の文化紹介も合わせて行われますので、特に時間を合わせてお出かけください。

日時: 2月7日(土)~15日(日)午前10:00~午後5:00

オープニングイベント 2月7日(土)午後3:00~4:00

場所: 原田の森ギャラリー(兵庫県立美術館王子分館)

☆入場無料

◇維持会員のつどい「日本のユーモア 落語に親しむ」

落語会のあと、落語家さん・下座さんを囲んでお話をうかがいます。

日時: 2月21日(土)午後1:30~5:30

場所: 神戸YMCA チャペル & サイコー亭

出演: 林家染左氏他

会費: 第1部(落語会)500円+第2部(囲む会)1500円

◇第21回午餐会

日時: 2月28日(土)正午~午後2:30

場所: 神戸YMCA 4F サイコー亭

テーマ: 「戦争文化から平和文化へ」

講師: スティーブン・リーパー氏

((財)広島平和文化センター理事長)

会費: 3,000円

編集後記: 念願のIBC・DBCに揃って大きな進展がありました。吉岡交流委員ご苦労様です。◇今年も楽しく美味しく有意義な留学生交流会を持つことが出来ました。彼等が日本語を習得し、日本を好きになって本国に帰ることが出来れば、私たちの小さな親切が大きく生きますね。 桑野友子